

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2020-163156(P2020-163156A)

【公開日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2020-041

【出願番号】特願2020-68700(P2020-68700)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月25日(2021.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

不正な磁気を検出することに基づいて特定報知を実行する特定報知実行手段と、

前記当り結果が導出される確率に関する設定情報を所定の表示部に表示可能な設定情報表示手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに所定の設定確認操作が行われると、前記設定情報を前記表示部に表示するものの前記設定情報を変更することができない設定確認状態に制御する設定確認状態制御手段と、

前記設定確認状態の終了後に、前記特定報知を実行可能な通常状態に制御する通常状態制御手段と、

所定の外部装置に対する信号出力が可能な外部出力手段と、

を備え、

前記外部出力手段は、

前記通常状態にて不正な磁気が検出された場合に、外部装置に対してセキュリティ信号を出力する第1のセキュリティ信号出力手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに前記設定確認操作が行われて前記設定確認状態が開始された場合に、不正な磁気が検出されていなくても外部装置に対して前記セキュリティ信号を出力する第2のセキュリティ信号出力手段と、を有しており、

前記設定確認状態が終了した後には、前記通常状態でありながらも継続して前記セキュリティ信号を出力可能であり、

前記通常状態でありながらも前記セキュリティ信号の出力が継続しているときに不正な磁気が検出された場合には、継続中の前記セキュリティ信号の出力を終了することなく、且つ、該検出に係る前記セキュリティ信号を破棄せず出力するように制御するものであり、

さらに、前記設定確認状態中は、遊技の進行が不能とされる
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0002**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0002】**

従来、パチンコ機等の遊技機のなかには、不正に当りを得ることを防止するために不正対策機能が搭載された遊技機が知られている。こうした遊技機では、例えば、遊技領域に磁石を近づけて遊技領域内の遊技球を不正に操作する不正行為や、遊技機を強打して遊技領域内の遊技球を不正に操作する行為などを防止するために、磁気センサや振動センサによる不正対策機能によって遊技領域内の遊技球が不正に操作されることを抑止している(例えば、特許文献1参照)。

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0003**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0003】****【特許文献1】**特開2017-23569号公報**【手続補正4】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0004**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0004】**

しかしながら、従来の遊技機に対する不正対策は十分とは言えず、まだ改善の余地がある。

【手続補正5】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0005**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0005】**

本発明は、上記した事情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、従来に比して不正対策が向上した遊技機を提供することにある。

【手続補正6】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0007**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0007】**

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

不正な磁気を検出することに基づいて特定報知を実行する特定報知実行手段と、

前記当り結果が導出される確率に関する設定情報を所定の表示部に表示可能な設定情報表示手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに所定の設定確認操作が行われると、前記設定情報

を前記表示部に表示するものの前記設定情報を変更することができない設定確認状態に制御する設定確認状態制御手段と、

前記設定確認状態の終了後に、前記特定報知を実行可能な通常状態に制御する通常状態制御手段と、

所定の外部装置に対する信号出力が可能な外部出力手段と、

を備え、

前記外部出力手段は、

前記通常状態にて不正な磁気が検出された場合に、外部装置に対してセキュリティ信号を出力する第1のセキュリティ信号出力手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに前記設定確認操作が行われて前記設定確認状態が開始された場合に、不正な磁気が検出されていなくても外部装置に対して前記セキュリティ信号を出力する第2のセキュリティ信号出力手段と、を有しており、

前記設定確認状態が終了した後には、前記通常状態でありながらも継続して前記セキュリティ信号を出力可能であり、

前記通常状態でありながらも前記セキュリティ信号の出力が継続しているときに不正な磁気が検出された場合には、継続中の前記セキュリティ信号の出力を終了することなく、且つ、該検出に係る前記セキュリティ信号を破棄せず出力するように制御するものであり、

さらに、前記設定確認状態中は、遊技の進行が不能とされることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の遊技機においては、従来に比して不正対策が向上した遊技機を提供することができる。